〈4 カリ･国際教養学部〉

科　目　名	科目区分	開講年次	必･選	開講期	単位数	担当教員名	担当形態
公認心理師の職責	**専門（人間理解）**	**1･2･3･4**	**選択**	**前期**	**2**	**鳥　越　淳　一**	**単独**

英語科目名	Professionalism of Licensed Psychologists	レベル	入門	実務経験のある教員による授業科目

＜授業概要＞

本講義では、公認心理師の資格を有する教員が実務経験を活かし、具体的に(1)公認心理師の役割、(2)公認心理師の法的義務及び倫理、(3)心理に関する支援を要する者等の安全確保、(4)情報の適切な取り扱い、(5)保健医療、福祉、教育その他の分野にける公認心理師の具体的な業務、(6)自己課題の発見と解決能力、(7)生涯学習への準備、(8)多職種連携及び地域連携について学ぶ。公認心理師が国家資格であることを踏まえ、その目指すところを理解し、心理学的に関する専門的知識及び技術をもって仕事をする心構えを身につける。

＜到達目標＞

本講義は、公認心理師の職責について学修し、その意味を理解するだけではなく、社会に対して説明できるようになることを目的とする。

＜ディプロマポリシー＞

- 高い対人関係能力・コミュニケーション能力を有する人材
- 常に社会に関心をもち、高い職業意識と自己管理能力を有する人材
- 自由な発想で問題発見・問題解決能力を有し、時代の変化に適応できる人材

＜学生へのフィードバック＞

授業の最後に小テストを行うことによって、理解が不足しているところを把握し、次の授業で復習を行う。

＜授業／AL の進め方＞

本講義は、講義とディスカッションの二部構成の授業となる。事前学習で調べてきた社会的問題を、講義後にディスカッションし、心理学的支援の意義を検討する。テストは確認テストであり、その結果で不確かなところを、再度講義で取り上げ、知識の定着をすすめる。学修したことは事後学修としてまとめ蓄積する。

＜利用する ICT 機器＞

パワーポイント及び DVD

＜成績評価＞

評価方法	割合	評価基準
確認テスト	80%	毎授業、最後にテストを行う。公認心理師の役割についての出題し、その回で取り扱ったものから出題する。
最終レポート	20%	前期の最後にレポートを授業内で提出。公認心理師が現代社会で求められる理由について各人の見解をまとめる。
その他	5 回以上の欠席は評価の対象外となる。	

＜教科書＞

随時、関係資料を配布する。

＜参考書＞

特になし。

＜受講学生へ＞

本授業は公認心理師対応のカリキュラムです。国家資格公認心理師の試験や実務を意識した授業になっています。

【授 業 計 画】

第 1 回	授業内容	公認心理師の役割①:国家資格としての心理師に期待されること 公認心理師としての職責の自覚、活動する分野の広さ、求められる知識やスキルについて
	事前事後学修	事後学修：心理職について調べ、まとめてくる（4 時間）
第 2 回	授業内容	公認心理師の役割②:公認心理師の4つの役割 公認心理師の法的位置づけ、公認心理師の法的義務と倫理について
	事前事後学修	事前学修：課題に対する回答を作成してくる（2 時間）・事後学修：要点をまとめてくる（2 時間）
第 3 回	授業内容	公認心理師の法的義務及び倫理①:概要とその理解 公認心理師が遵守すべき職業倫理について
	事前事後学修	事前学修：課題に対する回答を作成してくる（2 時間）・事後学修：要点をまとめてくる（2 時間）
第 4 回	授業内容	公認心理師の法的義務及び倫理②:法的義務及び倫理が問題となる事例の検討 事例を通して、倫理的問題を考えてみる
	事前事後学修	事前学修：課題に対する回答を作成してくる（2 時間）・事後学修：要点をまとめてくる（2 時間）
第 5 回	授業内容	心理に関する支援を要する者等の安全の確保 倫理的配慮、物理的安全、心理的安全について
	事前事後学修	事前学修：課題に対する回答を作成してくる（2 時間）・事後学修：要点をまとめてくる（2 時間）
第 6 回	授業内容	情報の適切な取り扱い 公認心理師の守秘義務やプライバシー、連携について
	事前事後学修	事前学修：課題に対する回答を作成してくる（2 時間）・事後学修：要点をまとめてくる（2 時間）
第 7 回	授業内容	公認心理師の業務①:保健医療分野における業務 保健医療分野で求められる心理学的支援及び具体的な業務
	事前事後学修	事前学修：課題に対する回答を作成してくる（2 時間）・事後学修：要点をまとめてくる（2 時間）
第 8 回	授業内容	公認心理師の業務②:福祉分野における業務 福祉分野で求められる心理学的支援及び具体的な業務
	事前事後学修	事前学修：課題に対する回答を作成してくる（2 時間）・事後学修：要点をまとめてくる（2 時間）
第 9 回	授業内容	公認心理師の業務③:教育分野における業務 教育分野で求められる心理学的支援及び具体的な業務
	事前事後学修	事前学修：課題に対する回答を作成してくる（2 時間）・事後学修：要点をまとめてくる（2 時間）
第 10 回	授業内容	公認心理師の業務④:司法・犯罪分野における業務 司法・犯罪分野で求められる心理学的支援及び具体的な業務
	事前事後学修	事前学修：課題に対する回答を作成してくる（2 時間）・事後学修：要点をまとめてくる（2 時間）
第 11 回	授業内容	公認心理師の業務⑤:産業・労働分野における業務 産業・労働分野で求められる心理学的支援及び具体的な業務
	事前事後学修	事前学修：課題に対する回答を作成してくる（2 時間）・事後学修：要点をまとめてくる（2 時間）
第 12 回	授業内容	心理的支援者としての自己課題発見と解決能力 公認心理師としての自己、職業的アイデンティティの形成について
	事前事後学修	事前学修：課題に対する回答を作成してくる（2 時間）・事後学修：要点をまとめてくる（2 時間）
第 13 回	授業内容	生涯学習への準備 心理専門職における生涯学習の必要性について
	事前事後学修	事前学修：課題に対する回答を作成してくる（2 時間）・事後学修：要点をまとめてくる（2 時間）
第 14 回	授業内容	他職種連携及び地域連携 現代の心のケアへのニーズ、多職種連携、地域連携について
	事前事後学修	事前学修：課題に対する回答を作成してくる（2 時間）・事後学修：要点をまとめてくる（2 時間）
第 15 回	授業内容	まとめ：公認心理師の今後の展開
	事前事後学修	事前学修：課題に対する回答を作成してくる（2 時間）・事後学修：要点をまとめてくる（2 時間）